

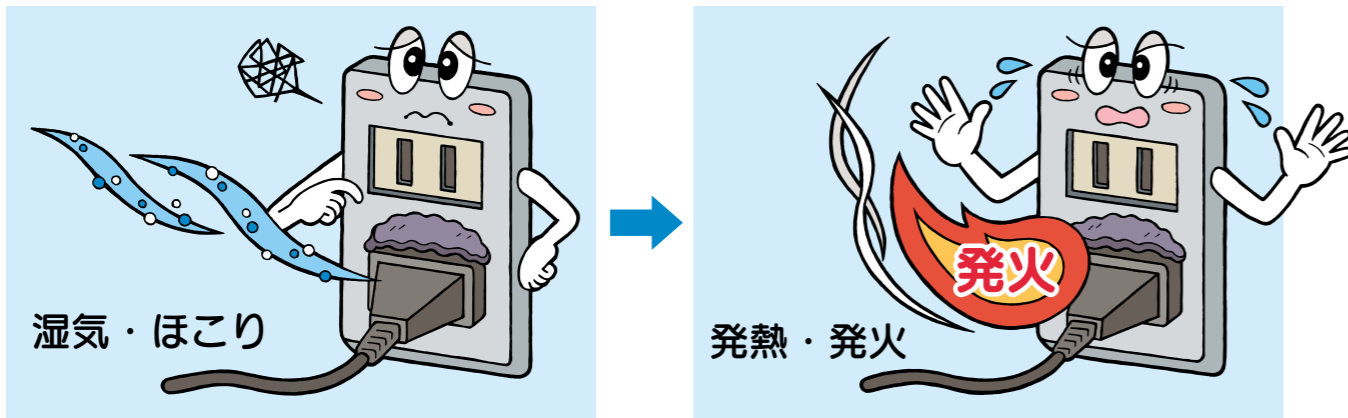


1 日頃のチェックでトラッキング対策

◆「トラッキング現象」とは

差しっぱなしの電源プラグとコンセントのすき間に埃がたまり、空気中の水分(湿気)が加わると、刃と刃の間にわずかな微電流が流れて、プラグ表面が炭化し、電気の道ができます。

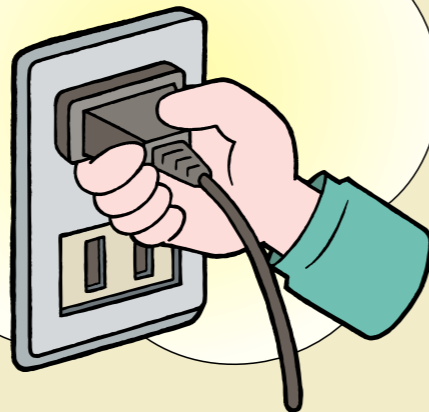
これを「トラッキング現象」といいます。この現象により突然プラグが発火することがあります。(下図参照)



トラッキング対策は?

- プラグはしっかり差し込みましょう。(コードを抜くときは、プラグを持って抜きましょう。)
- 年に数回コンセントからプラグを抜き、プラグの先端部分を拭きましょう。
- 台所やトイレなど湿気のある場所や家具の後など、埃のたまりやすい場所にあるコンセントが汚れていたら、定期的に清掃しましょう。
- 旅行などで長い間家を空けるときは、家電製品のプラグをコンセントから抜いておきましょう。

しっかり差し込みましょう



2 家庭で出来る地球温暖化対策(省エネルギー)

◆冷房・暖房の設定温度は控えめに

- 冷房は28℃、暖房は20℃を目安に設定しましょう。
- カーテンを利用して太陽光の入射を調整したり、着るものを工夫すると冷暖房機に頼らないで過ごせます。
- 冷暖房を入れる時期を少し遅らせてみましょう。



◆照明はこまめに消灯を

- 無駄な電気を使っていませんか?人のいない場所など、照明はこまめに消しましょう。
- 自然採光を上手に利用しましょう。



◆待機電力を大幅に削減する

- 主電源を切りましょう。
- 長時間使わないときはコンセントを抜きましょう。
- 家電製品の買い替えの際には待機電力の少ないものを選ぶようにしましょう。

◆トップランナー方式の利用を

- 家電製品の購入、買替えにあたっては、現在発売されている商品の中から、もっとも優れた省エネの数値(トップランナー)を基準として取り入れていくことにしましょう。
- エアコン、テレビ、冷蔵庫等が省エネ法で打ち出されたトップランナー方式の対象機器になっています。



地球温暖化対策

地球温暖化対策は、国や企業にだけ求められているわけではなく、電力や自動車、ごみ焼却などを含めて、日常生活から排出されるCO₂が増加している現状から、一人一人が日常の暮らしの中でどれだけ削減に貢献できるか問われる時代になってきています。

待機電力を減らすとかこまやかな省エネの励行等身の回りの小さなところから見つめなおして取り組んでいく必要があります。

その他には、暮らしの基盤である住まい自体の性能に気を配り、冷暖房の効率を上げる断熱性の高い住まいや、太陽光発電による自然エネルギーを活用する住まいの普及等が進んでいます。

